

ストップ 介護保険 負担増

日常の生活費が目に見えて上がってきている。とを日々実感している。マスコミやテレビは、円安、インフレ、ウクライナ侵攻を報道している。そんな中、10月

現実に目を向けて

中村新太郎 (富田林市)

から高齢者医療費の負担割合が上がった。予想通り受診抑制がハッキリしてきている。さらには、

これが医療機関に対する負担増であれば、保団連や保険協会が問題視して運動につなげられる。ところが介護施設の生活や負担についての不満を誰が代弁し、社会に

知らせ、改善していくのか。入所している人は日々の生活に介護や介助が必要だ。介護保険の負担額や施設利用の数々の値上げが実施での生活を脅かしている。今、そこにある現実に目を向けなければ、いずれ自分自身もその現実に飲み込まれていく。安心して生きていける最後の生活を維持するために、みんなの力を集結して運動していくことが必要不可欠だ。

政府内で介護保険制度の改善に向けた検討が進みつつある。負担増ストップへの思いを会員に寄稿してもらおう。



入居者は良いが、年間にしたら36万円の値上げになる。

政府内で介護保険制度の改善に向けた検討が進みつつある。負担増ストップへの思いを会員に寄稿してもらおう。



大阪市南部地区は11月23日、「下顎位を考慮したこどもの咬み合わせ治療」と題し、摂津市で開催する井上亮氏(写真)を講師に招き講習会を開催した。会場、WEBも含めて63人が参加した。

講演では、下顎位を考慮に入れた子どもの咬合育成に積極的に取り組む井上先生の症例を交え、子どもの成長段階に応じた診査、治療法について解説。MFTも紹介し、咀嚼、呼吸、発育、睡眠、栄養、生活習慣、姿勢などの関係性を述べ、下顎位の診査の重要性を強調した。

井上氏は「子どもほど生活習慣が下顎位に影響を及ぼし、前傾姿勢になるなど異常が出てくるため、妊婦歯科健診などで早めに親に接触する必要がある。ただ原因は多因子であるため、リスク因子に気づくことが大切となる」と説明した。また、兵庫県歯科医師会が作成した「歯の生え方にあわせたワンポイントアドバイス」を示し、子どもが食事する際には足のつく椅子を必ず使用することで姿勢が正しくなるよう指導し、咬合育成ステップごとに対応することが重要だと強調した。

日ごろから下顎位を観ながら子どもの咬み合わせを見ていく重要性を感じた講習会であった。(住之江区・吉田裕志)

精神疾患への対応学ぶ 3地区合同で開催

大阪市北部、同東部、北河内地区は3地区合同で講習会「こんな時どうする?認知症・精神疾患を持つ患者さんへの対応」を11月19日にM&Dホールで開いた。講師は医科協合理事兼精神科専門医の清水聖保氏(写真)が務め、WEB参加を含め51人が受講した。清水氏は認知症・精神疾患患者が増加傾向にあるデータを示し、「コロナ

ナ禍を機にうつ病患者が増え、発達障害の人は状況の変化についていけず、混乱の中で生活をしている」と説明。医療機関の対応の重要性を指摘した。

参加者からは、▽双極性障害を疑う患者が来院した場合の医科との連携▽パニック障害の患者の歯科治療で注意すべき点▽認知症を疑う患者を地域包括支援センターに連絡する場合の対応―などについて質問が出され、一人ひとりの疑問に答えた。

成長に応じ咬合治療を

大阪市南部地区

講演では、下顎位を考慮に入れた子どもの咬合育成に積極的に取り組む井上先生の症例を交え、子どもの成長段階に応じた診査、治療法について解説。MFTも紹介し、咀嚼、呼吸、発育、睡眠、栄養、生活習慣、姿勢などの関係性を述べ、下顎位の診査の重要性を強調した。

井上氏は「子どもほど生活習慣が下顎位に影響を及ぼし、前傾姿勢になるなど異常が出てくるため、妊婦歯科健診などで早めに親に接触する必要がある。ただ原因は多因子であるため、リスク因子に気づくことが大切となる」と説明した。また、兵庫県歯科医師会が作成した「歯の生え方にあわせたワンポイントアドバイス」を示し、子どもが食事する際には足のつく椅子を必ず使用することで姿勢が正しくなるよう指導し、咬合育成ステップごとに対応することが重要だと強調した。

日ごろから下顎位を観ながら子どもの咬み合わせを見ていく重要性を感じた講習会であった。(住之江区・吉田裕志)

協会行事案内

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ



協会電話対応時間のご案内

協会の電話による対応時間は次のとおりです。恐れ入りますが、所定の時間にご連絡いただきますようお願い申し上げます。
午前9時〜午後5時
※土、日、祝日、弊社休業日を除く

泉州地区講習会 歯内療法の新しい選択肢

日時 12月15日(木) 19時〜21時30分
会場 泉佐野エアポートプリンス(南海本線「泉佐野」駅徒歩5分)
講師 外賀泰氏(泉佐野市開業)
会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円
定員 40人
雇用管理セミナー

『医院経営と雇用管理2022年改訂版』刊行記念学習会

日時 12月24日(土) 午後3時〜5時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 桂好志郎氏(協会顧問社労士、『医院経営と雇用管理』監修) 定員 80人
会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円
※『医院経営と雇用管理2022年改訂版』(12/15付に同封)をお持ちください。

か強診・歯援診・外来環・歯初診の施設基準に係る研修会
▷1月15日(日) 10:00~16:30
会場 M&Dホール
講師 大西祐一氏(大阪歯科大学口腔外科学第二講座准教授)、高橋一也氏(大阪歯科大学高齢者歯科学講座教授)
会費 5千円
定員 130人
※両研修会とも遅刻・早退時は修了証を発行できません

【会員限定】施設基準研修会

歯初診の施設基準に係る研修会
▷12月17日(土) 18:00~18:30
▷1月28日(土) 18:00~18:30
▷2月18日(土) 18:00~18:30
▷3月25日(土) 18:30~19:00
会場 M&Dホール
講師 社保研究部講師団
会費 1千円
定員 各80人
持ち物 『絵で見る色でわかる歯科の院内感染防止対策』

保険診療 知っとく! なっ得!

患者やその遺族からのレセプト開示請求については、厚労省通知「診療報酬明細書等の被保険者等への開示について」(2005年3月31日保発0331009号)で取り扱いが示されている。レセプト開示は、原則として患者が加入する健康保険組合など(保険

保険者によるレセプト開示

診療上の支障を 医療機関に事前確認

者)に請求されるので、医療機関に直接請求されることはない。従来から、開示する場合は医療機関に対し、患者が傷病名を知ったとしても、診療上の支障が生じないことを事前確認することになっている。ただし、通知上、レセプト記載欄のうち、「傷病名」欄など一部を黒塗りにして開示することに患者が同意した場合は、保険医療機関への事前確認を経なくてもよい取り扱いが明記されている(下表参照)。その場合、事後に開示した旨が医療機関に通知される。

黒塗りされる場合のレセプト欄

「傷病名」欄、「摘要」欄、「医学管理」欄、全体の「その他」欄、「処置・手術」欄中の「その他」欄
*ただし、点数の小計欄は開示される

寝屋川市が物価高騰支援

寝屋川市は小規模企業者向けに物価高騰対策緊急支援金の申請を開始した。詳細は次の通り。
【対象】 常時使用労働者数5人以下の個人または、常時使用労働者数20人以下の法人の歯科診療所
【要件】 物価高騰の影響を受け、売上が20%減少しているなどの要件を満たす事業所
【給付額】 1事業者あたり10万円
【申請期限】 2023年2月17日
【申請方法】 郵送、窓口(要予約)、電子申請
【相談窓口】 寝屋川市小規模企業者物価高騰対策緊急支援金担当 (TEL072-839-8031)

※詳細は寝屋川市HP (QRコード) 参照



参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

無料相談

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み
法律 2月6日(月) 午後2時〜4時
税務 12月21日(水) 午後2時〜5時
雇用 12月15日(木) 午後2時〜4時